



日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会

2017年度中部北陸地区 床ずれセミナー

理事長

大浦 武彦
(医療法人社団 廣仁会 褥瘡・創傷治癒研究所)

全国会長

袋 秀平
(ふくろ皮膚科クリニック)

地区会長

大西 山大
(介護老人保健施設かなやま)



全
国
テ
ー
マ

『在宅協 10 年—新たな時代に』

おかげさまで発足 10 年

日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会（旧 日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会）が発足して丸 10 年がたちました。在宅での褥瘡・創傷ケアの向上を目指して活動してまいりました。医師や看護師だけでなく、介護ヘルパー、ケアマネジャー、またご利用者やご家族の方も対象とした床ずれセミナーを開催したり、一般の方にも読んでいただけるような在宅向けの褥瘡ガイドである「床ずれケアナビ」を出版しました。「床ずれケアナビ」は「新床ずれケアナビ」、さらに第 3 版へと進化しています。セミナーにしても「床ずれケアナビ」にしても、実践的ですが在宅でのケアに役立てることが出来るような内容です。



日 時

2017年 11月 19日(日)

9:30 ~ 17:05 (受付 9:00 開始)

定 員

200 名

対象者

医師、歯科医師、看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、薬剤師、介護支援専門員、介護福祉士、ヘルパー、福祉用具専門相談員、一般、学生、他

参加費

※お弁当付

会員 2,000 円
非会員 3,000 円
学生 1,000 円

会 場

名古屋大学大幸キャンパス
東館 4 階大講義室
(〒461-8673
愛知県名古屋市東区大幸南一丁目 1 番 20 号)

※本セミナーは日本褥瘡学会認定講習会(申請中)です。

日本の床ずれ対策は飛躍的發展

在宅における床ずれの有病率は、2006 年の 8.32% から 2013 年には 2.61% に低下しています（日本褥瘡学会による）。確かに数字の上では減っていますが、実際に往診をしてみるとまだまだひどい床ずれに出会うこともありますし、床ずれになったらどうしたらよいか途方に暮れてしまったり、十分な医療・介護サービスを受けていない、受け方もわからないケースも見られます。体圧分散寝具をはじめとして、日本の床ずれ対策用具は世界に誇れるレベルになっています。治療や予防の理論も飛躍的に発展してきています。

在宅協がチーム作りをサポート

しかしそれらを利用して、ひとりひとりの状況に合わせてケアに役立てるのは「ひと」の仕事です。いまや病院には褥瘡対策チームがありますが、在宅にはありません。チームを作り、それを強くする必要があります。それにはチームを構成する個々の力を上げて、チームプレイを磨いていかなければなりません。そのサポートの役割を、

私たちは担っていきたくと思っています。



在宅協

さて、10 年の節目の年に、私たちは日本褥瘡学会と合流いたしました。今まで以上に日本褥瘡学会と連携を図り、充実した活動を展開していくつもりです。合流に伴って名称も、「日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会」と改めることになりました。今までは「推進協会」などと呼ばれることもありましたが、この名称の変化に伴い、「在宅協」と略することにいたしました。耳慣れないかも知れませんが、どうぞよろしくお願いいたします。



2017 年度全国会長 袋 秀平

2017 年度中部北陸地区床ずれセミナー プログラム（予定）

9：00—9：30 受付開始（企業展示）

9：30—9：35 開会の辞

地区会長 大西 山大
（老人保健施設かなやま 施設長）

9：35—10：30 教育講演 1

「床ずれケアナビ全面改良版を活用しよう
～床ずれ発生のメカニズムと OH スケールを中心に～」

座長：横田 恵一
（株式会社フューテックホールディングス）
演者：堀田 由浩
（統合医療希望クリニック 院長）

10：30—10：40 休憩

10：40—11：40 特別講演

「ケア従事者だからこそ必要なアロマセラピーケア」
座長：大西 山大
（老人保健施設かなやま 施設長）
演者：小坂橋里美
（自然療法ヒリングスクール&サロン mein Schatz 主宰）

11：40—12：30 昼食

（共催企業によるプレゼンテーション）

12：30—13：30 教育講演 2

「在宅における医療職に必要な栄養の知識と
評価方法」

座長：後藤 俊介
（キョーワ訪問看護リハビリステーション
寄り添い屋千種店 理学療法士）
演者：森本 義郎
（一般社団法人 国際統合リハビリテーション協会 会長）

13：30—13：40 休憩

13：40—14：40 教育講演 3

「在宅に必要な栄養管理～手軽に調理、手軽に
栄養摂取～」

座長：森本 義郎
（一般社団法人 国際統合リハビリテーション協会 会長）
演者：田村佳奈美
（福島学院大学短期大学部 食物栄養学科 講師）

14：40—14：50 休憩

14：50—15：50 症例検討

座長：加藤 友紀
（中部ろうさい病院 形成外科部長）
前川 厚子
（名古屋大学 医学部保健学科 教授）
演者：前田 恵子
（愛知淑徳大学 健康医療科学部健康栄養学科 教授）
小口妃小江

（キョーワ訪問看護リハビリステーション
寄り添い屋千種店 皮膚・排泄ケア認定看護師）
後藤 俊介
（キョーワ訪問看護リハビリステーション
寄り添い屋千種店 理学療法士）
里村 愛
（医療法人八事の森 杉浦医院 管理栄養士）
山田 一乃
（野々村歯科医院 歯科衛生士）

15：50—16：00 休憩

16：00—17：00 全国会長講演

「皮膚科医が伝えたいこと～在宅褥瘡のケア、治療に
おいて～」

座長：大西 山大
（老人保健施設かなやま 施設長）
演者：袋 秀平
（ふくろ皮膚科クリニック 院長）

17：00—17：05 閉会の辞

地区会長 大西 山大
（老人保健施設かなやま 施設長）

【会場】

名古屋大学大幸キャンパス 東館 4 階大講義室

※キャンパスマップ⑨がセミナー会場

（461-8673 名古屋市東区大幸南 1-1-20）

※駐車場がありません。

公共交通機関をご利用ください。

■JR 中央本線

「大曾根駅（北口）」下車 徒歩 15 分。

■地下鉄名城線

「ナゴヤドーム前矢田駅」下車 徒歩 10 分。

又は、「砂田橋駅」下車徒歩 7 分。

■ガイドウェイバス

「ナゴヤドーム前矢田駅」下車徒歩 10 分。

又は、「砂田橋駅」下車徒歩 7 分。

■市バス

「名古屋駅」「大曾根」から名駅⑮系統「砂田橋」
行きで「大幸三丁目」下車。

問い合わせ先)

日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会 事務局

TEL：03-5291-6231/FAX：03-5291-2176

配置図（大幸キャンパスマップ）



日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会
2017年度 中部・北陸地区床ずれセミナー申込書

申込先FAX:03-5648-6640 申込締切日:11月10日(金)

* FAX番号を必ずご記入ください。申し込み受付後、整理番号をFAXにて返信します。

中部・北陸地区		整理番号	
11月19日(日)		*事務局記入欄	
参加費	会員 2,000円 / 非会員 3,000円 / 学生 1,000円 *当日、受付にてお支払いください		
会 員 非 会 員	<input type="checkbox"/> 会 員 ※(会員番号:HC)・ <input type="checkbox"/> 非 会 員 <input type="checkbox"/> 当日に会員になる (いずれかをチェックして下さい)		
コアスタッフ	<input type="checkbox"/> 登録している <input type="checkbox"/> 登録していない (いずれかをチェックして下さい)		
氏 名	しめい ふりがな		
勤務先名	勤務先部署名		
勤務先住所	〒		
勤務先 TEL	勤務先 FAX		
自宅住所	〒		
自宅 TEL	自宅 FAX		
E-mail	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自 宅 (いずれかをチェックして下記に記載して下さい)		
発 送 先	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自 宅 (いずれかをチェックして下さい)		
職種分類 (いずれかを チェックして 下さい)	<input type="checkbox"/> 医 師 <input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> WOC <input type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> 薬剤師 <input type="checkbox"/> PT <input type="checkbox"/> OT <input type="checkbox"/> ST <input type="checkbox"/> 栄養士 <input type="checkbox"/> 管理栄養士 <input type="checkbox"/> 介護福祉士 <input type="checkbox"/> 訪問介護員(ヘルパー) <input type="checkbox"/> 福祉用具相談員 <input type="checkbox"/> その他(具体的に)		

※ 今回提供頂きますデータは個人情報でございます。日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会の活動及び役員会が
 必用と認めた事業以外に使用致しません。